

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業評価参考様式

都道府県名 鹿児島県

1 産地パワーアップ計画

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができる こと。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考							
					現状				目標				実績															
					年度	面積	生産量、 出荷量、 又は処理 量	単位	年度	面積	生産量、 出荷量、 又は処理 量	単位	年度	面積	生産量、 出荷量、 又は処理 量	単位												
東串良 町農業 再生協 議会	2	東串良	だいこん	大根収穫機により収穫作業を機械化し、管理作業省力化により生産コストの10%以上の削減に取り組む。併せて、面積拡大及び経営安定を図る。	生産コストの10%以上の削減	29	97,930 千円	102.48	ha	総生産量 5124	t	2	85,843 千円	110.00	ha	総生産量 5500	t	2	83,006 千円	149.5	ha	総生産量 7485	t	かごしまの農林水産物認証制度の認証に係る資料等に基づき、生産コストを算出し比較検証を行う。	123.5	収穫作業の機械化や人的作業の効率化、シーダーテープの導入・自社作業により生産コストは十分に低減されている。	収穫機のリース導入により、収穫作業に係る人件費を削減されたことなどから、成果目標を達成できた。	

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												地域(県又は国)の 価格(販売単価)		補正係数	価格補正 後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができる こと。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考															
					現状				目標				実績				事業実 施前年 度	目標年 度																						
					年度	面積	生産量、 出荷量、 又は処理 量	単位	年度	面積	生産量、 出荷量、 又は処理 量	単位	年度	面積	生産量、 出荷量、 又は処理 量	単位	年度	面積								生産量、 出荷量、 又は処理 量	単位	単位	単位											
長島町 農業再 生協 議会	1	長島東西地 区	ばれいしょ	ばれいしょ生産安定と産地維持拡大 ①10a当たりの単収向上対策 (弱状・2.098kg/10a →目標単収 2.305kg/10a) ②ばれいしょ出荷時期の 前進化による高単価期への 対応 ③高品質・安定供給の取 組みを推進し、契約販売 の実施 ④収益性の低いさつまい もからばれいしょへの転 換	販売額の10%以上の増加	28	1,704,499 千円	525	ha	11,013	t	155	円/ kg	2	2,003,120 千円	550	ha	12,680	t	158	円/ kg	2	3,556,583 千円	550	ha	12,985	t	274	円/ kg	196	円/ kg	162	円/ kg	1.210	4,305,047 千円	●集荷業者であるエグチベジフル株式会社の年度別販売実績により検証 ●納品書等出荷管理帳票から販売額を把握し評価	870.9	気象条件が良好で2週間程度収穫時期が前進化したことから、出荷時期も早まり市場単価が例年に比べ非常に良かった。 また、目標とする面積が550haに対して、さつまいもからの転換により早春ばれいしょの作付面積が増加したことで実績値が達成できた。	集出荷貯蔵施設の整備により、面積拡大が図られ、収量も確保でき、高単価で取引されたことから、成果目標は達成された。	
志布志 市農業 再生協 議会	1	志布志市 有明	茶	輸出向け茶加工施設の 整備、製茶品質及び処理 能力向上に伴う施設整 備、高収益栽培体系への 転換に伴う被覆資材の導 入等	販売額の10%以上の増加	27	382 千円/10a	365.4	ha	1,857.3	t	752	円/ kg	2	437 千円/10a	387.9	ha	1953.3	t	869	円/ kg	2	525 千円/10a	450.7	ha	2,830.0	t	836	円/ kg			平成32年度の生産実績で検証する。	258.8	全体実績は、てん茶需要の増大や煎茶の高品質化により面積、出荷量、価格共に目標を達成していない取組主体があった。目標未達者の未達理由は販売単価の減少であるため、達成に向けて仕向け先の検討や出荷量の増加などを指導していく。	加工施設等整備により、品質や処理能力が向上し、面積、価格共に目標を上回った。今後も目標未達の取組主体に対して、関係機関・団体と連携し栽培技術向上等、目標達成に向けた支援を行っていく。	中山間優先枠 契約栽培				
大崎町 農業再 生協 議会	2	大崎南部	だいこん 葉ねぎ	だいこん産地形成の推 進、葉ねぎ産地の推 進 ①収益性の低い作物(飼 料作物・さつまいも)か らだいこんへの品目転 換、葉ねぎの生産拡大の 取組 ②省力化機械の導入による 規模拡大 ③農産物処理加工施設の 導入	販売額の10%以上の増加	27	571,778,307 円	155	ha	7,520	t	76	円/ kg	2	789,200,000 円	209	ha	9,702	t	81.3	円/ kg	2	775,884,145 円	191	ha	10,930.5	t	70.9	円/ kg	76	円/ kg	70.98	円/ kg	1.071	830,971,919 円	販売額及び栽培面積実績と目標値を比較し、検証する。 現状 571,778,307円 155ha	119.2	計画どおり目標達成できた。	計画どおり作付けを行うことができ、生産量も目標を上回ったことから、成果目標を達成できた。	中山間優先枠
東串良 町農業 再生協 議会	1	東串良	たまねぎ	たまねぎの管理作業を機 械化し、作業効率を上げ、土づくり、防除等の 徹底による品質向上及び 反収増に取り組む。併せ て、規模拡大を進め、面 積増加を図る。	販売額の10%以上の増加	29	236,000 円/10a	0.85	ha	37,665	kg	800	円 (税別) /kg (15 kg)	2	260,777 円/10a	9.0	ha	440,062.5	kg	800	円 (税別) /kg (15 kg)	2	118,224 円/10a	4.35	ha	78,560	kg	975	円 (税別) /kg (15 kg)	72	円/ kg	61	円/ kg	1.180	139,504 円/10a	10a当りの販売額については、集出荷記録及び販売額から算出し、現状値と比較検証を行う。	-389.5	販売単価は高いが、収穫量・出荷量の低さが原因となり目標達成には至っていない。 作付面積についても、コロナ禍の影響が大きく、業務用出荷先の需要減速や外国人技能実習生の減少により拡大が難しい状況である。 病害防止のために収穫時期を前倒しした早生品種に転換し、また、黒籠り需要に適した青果用出荷を行い廃棄を抑え、高単価出荷を行う。 以上で目標の水準に達することは可能であると考ええる。	管理機等のリース導入を行ったが、作付面積や単収が計画通り確保できなかったため、成果目標を達成できなかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での面積拡大や栽培技術向上を支援する。	
鹿児島 県農業 再生協 議会	1	曾於 肝属	ごぼう	○ごぼう産地の形成の推 進 ①ごぼうの周年出荷に向 けの産地拡大 ②集出荷体制の整備による 安定的な計画出荷の確 立	販売額の10%以上の増加	27	587,340,000 円	144.9	ha	1107.3	t	530	円/ kg	2	882,662,000 円	216	ha	1665.4	t	530	円/ kg	2	726,679,985 円	171.4	ha	1298.9	t	541	円/ kg	266	円/ kg	275	円/ kg	0.967	702,124,292 円	販売実績と目標値を比較し、検証する。	38.9	令和2年度の販売額実績の目標に対する達成率は、39.9%と目標達成に至らなかったものの、現状値比では20%の増加となった。 達成率が低かった要因は、高齢化による作付面積の減少や、天候不順による生育不良で、単収や商品率が低かったことにより、出荷量が目標に達しなかったため、成果目標は達成できなかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での適正管理を含めた栽培技術向上を支援する。	貯蔵施設や選果施設の整備を行ったが、天候不順による生育不良で、単収や商品率が低かったことにより、出荷量が目標に達しなかったため、成果目標は達成できなかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での適正管理を含めた栽培技術向上を支援する。	

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標										地域(県又は国の)価格(販売単価)				補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証ができること	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考				
					現状					目標					実績											事業実施前年度	目標年度		
					年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)										生産コスト	
徳之島町担い手育成総合支援協議会	4	下久志	パレイシヨ	ばれいしよの生産安定の推進 ①畑かんを積極的に利用した栽培の推進 ②作付けから収穫までの機械化一貫体系を確立するための機械導入を推進 ③町、J.A. 園芸振興会が連携し、研修会の開催や適期管理の推進	販売額の10%以上の増加(単位面積当たりの増加)	29	112,272円/10a	3.8 ha	59,014 kg	72 円/kg	2	170,000円/10a	10 ha	170,000 kg	100 円/kg	2	237,668円/10a	3.80 ha	37,921 kg	235 円/kg	118 円/kg	299 円/kg	0.395	92,632円/10a	平成29年度出荷実績と平成32年度出荷実績を比較して検証する。 【出荷実績は、出荷伝票より比較】	-34.0	北海道産の不作、長期貯蔵ができる野菜の需要が高まったためによる単価の上昇。近年、病害による単収の低下により、出荷量が少なかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での病害対策を努めるよう指導していく。	管理機等のリース導入を行ったが、病害の発生により収量が確保できなかったことから、成果目標を達成できなかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での病害対策を含めた栽培技術向上を支援する。	
徳之島町担い手育成総合支援協議会	5	母間	パレイシヨ	ばれいしよの生産安定の推進 ①畑かんを積極的に利用した栽培の推進 ②作付けから収穫までの機械化一貫体系を確立するための機械導入を推進 ③町、J.A. 園芸振興会が連携し、研修会の開催や適期管理の推進	販売額の10%以上の増加(単位面積当たりの増加)	29	77,317円/10a	4.5 ha	78,800 kg	44 円/kg	2	186,862円/10a	10.2 ha	190,600 kg	100 円/kg	2	238,780円/10a	3.0 ha	28,382 kg	262 円/kg	118 円/kg	299 円/kg	0.395	94,171円/10a	平成29年度出荷実績と平成32年度出荷実績を比較して検証する。 【出荷実績は、出荷伝票より比較】	15.4	北海道産の不作、長期貯蔵ができる野菜の需要が高まったためによる単価の上昇。近年、病害による単収の低下により、出荷量が少なかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での病害対策を努めるよう指導していく。	管理機等のリース導入を行ったが、病害の発生により収量が確保できなかったことから、成果目標を達成できなかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での病害対策を含めた栽培技術向上を支援する。	
徳之島町担い手育成総合支援協議会	6	徳和瀬	パレイシヨ	ばれいしよの生産安定の推進 ①畑かんを積極的に利用した栽培の推進 ②作付けから収穫までの機械化一貫体系を確立するための機械導入を推進 ③町、J.A. 園芸振興会が連携し、研修会の開催や適期管理を推進	販売額の10%以上の増加(単位面積当たりの増加)	29	81,455円/10a	1.32 ha	19,200 kg	56 円/kg	2	160,000円/10a	10 ha	160,000 kg	100 円/kg	2	459,839円/10a	10.0 ha	161,410 kg	285 円/kg	118 円/kg	299 円/kg	0.395	181,707円/10a	平成29年度出荷実績と平成32年度出荷実績を比較して検証する。 【出荷実績は、出荷伝票より比較】	127.6	近年の病害発生による単収低下が懸念される中、リース導入した管理機等の効率的な利用により、適正管理が徹底され収量が確保できたため、成果目標を達成できた。	リース導入した管理機等の効率的な利用により、適正管理が徹底され収量が確保できたため、成果目標を達成できた。	
和泊町担い手育成総合支援協議会	3	和・和泊	パレイシヨ	①機械化一貫体系確立のための機械導入(リース) →乗用型防除機2台 →乗用型掘り取り集積機1台 →ポテトハーベスタ1台 ②畑かん水の積極的な活用 ③栽培技術向上のための研修会の開催等	販売額の12%以上の増加(単位面積当たりの増加)	27	261,548円/10a	4.966 a	1,076 kg/10a	243 円/kg	2	293,000円/10a	5.446 a	1,208 kg/10a	243 円/kg	2	334,042円/10a	70.4 ha	1,016 kg/10a	329 円/kg	236 円/kg	331 円/kg	0.713	238,330円/10a	平成27年度出荷実績と平成32年度出荷実績を評価して検証する。 【出荷実績は、園芸振興会和支所・和泊支所実績より比較】 現状：129,885千円/4,966a 目標：159,787千円/5,446a	-73.8	面積は、生産者の産地維持意識により目標を上回っていることから、適期管理の継続を推進する。単価については、コロナの影響により高単価で推移した。	防除機や収穫機をリース導入したが、病害発生により単収を計画どおり確保できなかったため、成果目標を達成できなかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での病害対策を含めた栽培技術向上を支援する。	
和泊町担い手育成総合支援協議会	5	和泊町	さとうきび	①機械化一貫体系確立のための機械導入(リース) ②畑かん水の積極的な活用 ③栽培技術向上のための研修会の開催等	販売額の13%以上の増加	27	89,176円/10a	800 ha	24,298 t	22,123 円/t	2	101,122円/10a	805 ha	29,649.76 t	21,964 円/t	2	131,379円/10a	752 ha	42,833 t	23,061 円/t			0.650		生産実績(原料受入明細)により評価する。 【現状】 現状値は過去5か年のうち中層3か年の実績値から算出(目標) 単収4,604t/10a×単価21,964円/t	353.3	目標は達成となったが、今後も適期管理を推進し、地域の単収向上に努めてもらいたい。	事業による省力機械の導入により、熟練作業の省力化が図られたことにより目標を達成することができたと考えられる。 今後も機械を有効活用し、単収・品質向上に努めていただきたい。	国の制度により、さとうきびの単価は定額のため、価格補正は行わない。
和泊町担い手育成総合支援協議会	7	古里	パレイシヨ	①機械化一貫体系確立のための機械導入(リース) →ポテトハーベスタ1台 ②畑かん水の積極的な活用 ③栽培技術向上のための研修会の開催等	販売額の10%以上の増加(単位面積当たりの増加)	27	276,384円/10a	15.8 ha	1,199 kg/10a	230 円/kg	2	305,000円/10a	16.0 ha	1,454 kg/10a	210 円/kg	2	368,510円/10a	20.3 ha	1,082 kg/10a	341 円/kg	215 円/kg	331 円/kg	0.650	239,825円/10a	平成27年度出荷実績と平成32年度出荷実績を評価して検証する。 【出荷実績は、園芸振興会古里支所実績より比較】 現状：43,696千円/1,581a 目標：48,938千円/1,603a	-127.8	中心的な経営体等が面積拡大するなど、現時点で目標値を達成しているが、病害虫により単収の減となった。適期管理により、単収向上を図る。 今後も適期管理の継続を推進するほか、単価向上に向けて産地PR等を実施したい。	収穫機をリース導入したが、病害発生により単収を計画どおり確保できなかったため、成果目標を達成できなかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での病害対策を含めた栽培技術向上を支援する。	
和泊町担い手育成総合支援協議会	8	和泊西	パレイシヨ	①機械化一貫体系確立のための機械導入(リース) →ポテトハーベスタ1台 ②畑かん水の積極的な活用 ③栽培技術向上のための研修会の開催等	販売額の10%以上の増加(単位面積当たりの増加)	27	155,258円/10a	1,700 a	852 kg/10a	182 円/kg	2	184,000円/10a	1,710 a	923 kg/10a	200 円/kg	2	322,482円/10a	19.7 ha	1,294 kg/11a	249 円/kg	215 円/kg	331 円/kg	0.650	209,434円/10a	平成27年度出荷実績と平成32年度出荷実績を評価して検証する。 【出荷実績は、共同出荷先が取りまとめる実績より比較】 現状：26,394千円/1,700a 目標：31,556千円/1,710a	188.5	単収の増加により目標達成していることから、今後も適期管理を継続するよう推進する。	リース導入した収穫機の効率的な利用により、適期収穫が進み、成果目標は達成された。	
知名町担い手育成総合支援協議会	1	知名町	さとうきび	受託組織の育成・強化のため、管理用機械を導入し、適期適切な管理作業の実施と深耕、有機物供給による土づくりなど地力向上対策を行い、単収増加(販売額増加)に取り組む。	販売額の13.8%以上の増加	27	113,093円/10a	1,059 ha	38,724 t	22,350 円/t	2	128,700円/10a	1,064 ha	45,194 t	21,818 円/t	2	135,380円/10a	930 ha	54,625 t	23,061 円/t			0.650		生産実績(原料受入明細)により評価する。 【現状】 単収5,900t/10a×単価22,350円/t (目標) 単収5,900t/10a×単価21,818円/t	142.8	目標は達成となったが、今後も適期管理を推進し、地域の単収向上に努めてもらいたい。	事業によるトラクタをはじめとする省力機械の導入により、適期管理の省力化が図られたことから目標を達成することができたと考えられる。 今後も機械を有効活用し、単収・品質向上に努めていただきたい。	国の制度により、さとうきびの単価は定額のため、価格補正は行わない。
知名町担い手育成総合支援協議会	2	余多北部	パレイシヨ	①機械化一貫体系確立のための機械導入(リース) →乗用型防除機1台 →ポテトハーベスタ1台 ②畑かん水の積極的な活用 ③栽培技術向上のための研修会の開催等	販売額の10%以上の増加(単位面積当たりの増加)	27	269,337円/10a	18.8 ha	196,899 kg	257 円/kg	2	298,000円/10a	25.0 ha	372,600 kg	200 円/kg	2	321,588円/10a	15.1 ha	154,091 kg	315 円/kg	236 円/kg	332 円/kg	0.711	228,398円/10a	平成27年度出荷実績と平成32年度出荷実績を評価して検証する。 現状：50,608千円/1,879a 目標：74,520千円/2,500a	-142.8	軟腐病や突風による被害のため単収が下がったため病害虫対策の徹底及び適期管理を推進する。	防除機や収穫機をリース導入したが、単価低迷により作付面積を確保できなかったこと、病害等による低単収により、成果目標は達成されなかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での面積拡大や栽培技術向上を支援する。	
知名町担い手育成総合支援協議会	4	上平川東部地区	パレイシヨ	①機械化一貫体系確立のための機械導入(リース) →乗用型防除機1台 →ポテトハーベスタ1台 ②畑かん水の積極的な活用 ③栽培技術向上のための研修会の開催等	販売額の10%以上の増加(単位面積当たりの増加)	27	262,428円/10a	9.5 ha	108,287 kg	230 円/kg	2	302,000円/10a	11.0 ha	166,500 kg	200 円/kg	2	197,198円/10a	14.1 ha	86,657 kg	320 円/kg	236 円/kg	332 円/kg	0.711	140,129円/10a	平成27年度出荷実績と平成32年度出荷実績を評価して検証する。 現状：24,930千円/950a 目標：33,300千円/1,100a	-309.1	連作障害や軟腐病により単収が下がったため土壌改良及び病害虫対策を推進する。	防除機や収穫機をリース導入したが、連作障害等の発生により単収を計画どおり確保できなかったため、成果目標を達成できなかった。 県では、目標達成に向け、関係機関・団体と連携して産地での土壌改良等を含めた栽培技術向上を支援する。	

(3) 契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考													
					現状				目標				実績																					
					年度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位	年度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位	年度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位																		
露島市農業再生協議会	1	牧園・溝辺・国分	茶	高収益な栽培体系への転換(福茶・玉露・モガ茶・有機・トリノ用栽培等)など契約取引等の割合を高め、茶業経営の安定を図る。	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること	27	17.2%	275.9	ha	全体量 867.2	t	149.3	t	2	62.7%	294.0	ha	1,076.70	t	675.6	t	2	68.9%	350.48	ha	1,237	t	852.5	t	・事業実施者毎に荒茶生産量と出荷量を記録し、生産終了後に集計し、現状値と取引契約量との比較検証	113.5	有機栽培やてん茶等需要に応じた生産が進み、販売においても契約先との連携で安定した生産、経営が進みつつある。また、多種多様な生産を図ることでバランスのとれた販売が可能となっている。しかし、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により契約締結できなかった生産者もいたことから、契約先の確保を行い目標以上の事業効果が得られるよう期待する。	面積、出荷量、契約栽培量共に目標を上回ったことから、成果目標は達成された。今後も、契約先との連携で安定した生産、経営が図られるよう、関係機関・団体に連携し有機栽培やてん茶栽培等の生産支援を行っていく。	
志布志市農業再生協議会	3	志布志市	たまねぎ	たまねぎ産地形成の推進	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること	28	0%	0	ha	0	t	0	t	2	70%	11	ha	550	t	385	t	2	100%	5.8	ha	171	t	171	t	生産実績と目標値を比較し、検証する。	142.9	契約割合の増加の成果目標は達成できたが、新型コロナウイルス感染症拡大における消費減少に伴い、契約数量の減を余儀なくされ、面積、総出荷量、契約数量が未達成となっている。契約数量の増に向け、出荷先と協議を進めるよう指導。	新型コロナウイルス感染拡大による契約量減少及び収穫時期における長雨の影響による腐敗の発生により、生産量が減少したが、収穫機等のリース導入による効率的な出荷により、成果目標は達成できた。	

都道府県平均達成率	59%	総合所見	<p>【県全体】 令和2年度を目標年度としている18計画のうち10計画は目標を達成し、8計画は目標を達成することができなかった。目標未達成となった8計画を策定した5地域協議会に対しては、目標達成に向けて、関係機関・団体と連携して指導を行っていく。</p> <p>(生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減) 野菜1計画は、収穫機械のリース導入により、生産コストの低減が図られ、計画どおり10%以上削減することができ、目標達成となった。</p> <p>(契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること) 野菜1計画は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響等により、生産量は減少したが収穫機械等のリース導入による効率的な出荷により、目標達成となった。 茶1計画は、荒茶加工施設の整備により、需要に応じた有機栽培やてん茶等の生産加工体制が確立されたことにより、目標達成となった。</p> <p>(販売額又は所得額の10%以上の増加) 野菜4計画、さとうきび2計画、茶1計画は、集出荷施設等の整備や管理機械等のリース導入により、販売額が増加し、計画どおり10%以上増加することができ、目標達成となった。 野菜8計画は、9月の台風等の気象変化が影響した生育不良や病害による収量減により、計画どおりの販売額を確保できなかったことから、目標を達成することができなかった。</p>
-----------	-----	------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【鹿児島県】

市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等 区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R2)	事業実施後 (目標年度)	目標 達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の 判断理由
							実績値		
東串良町	東串良町農業再生協議会	1	たまねぎ	販売額の10%以上の増加	236,000円/10a (H29)	260,777円/10a	139,504円/10a	-389.5%	達成状況が-389.5%と低調であること、改善策については早生品種への転換を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、東串良町農業再生協議会を指導する必要がある。
鹿児島県	鹿児島県農業再生協議会	1	ごぼう	販売額の10%以上の増加	587,340,000円 (H27)	882,662,000円	702,124,292円	38.9%	達成状況が38.9%と低調であること、改善策については適正管理を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、鹿児島県農業再生協議会を指導する必要がある。
徳之島町	徳之島町担い手育成総合支援協議会	4	パレイシヨ	販売額の10%以上の増加	112,272円/10a (H29)	170,000円/10a	92,632円/10a	-34.0%	達成状況が-34.0%と低調であること、改善策については病害対策を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、徳之島町担い手育成総合支援協議会を指導する必要がある。
徳之島町	徳之島町担い手育成総合支援協議会	5	パレイシヨ	販売額の10%以上の増加	77,317円/10a (H29)	186,862円/10a	94,171円/10a	15.4%	達成状況が15.4%と低調であること、改善策については産地での面積拡大や病害対策を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、徳之島町担い手育成総合支援協議会を指導する必要がある。

市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等 区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R2)	事業実施後 (目標年度)	目標 達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の 判断理由
							実績値		
和泊町	和泊町担い手育成総合支援協議会	3	パレイシヨ	販売額の10%以上の増加	261,548円/10a (H27)	293,000円/10a	238,330円/10a	-73.8%	達成状況が-73.8%と低調であること、改善策については病害対策を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、和泊町担い手育成総合支援協議会を指導する必要がある。
和泊町	和泊町担い手育成総合支援協議会	7	パレイシヨ	販売額の10%以上の増加	276,384円/10a (H27)	305,000円/10a	239,825円/10a	-127.8%	達成状況が-127.8%と低調であること、改善策については病害対策を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、和泊町担い手育成総合支援協議会を指導する必要がある。
知名町	知名町担い手育成総合支援協議会	2	パレイシヨ	販売額の10%以上の増加	269,337円/10a (H27)	298,000円/10a	228,398円/10a	-142.8%	達成状況が-142.8%と低調であること、改善策については産地での面積拡大や防風及び病害対策を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、知名町担い手育成総合支援協議会を指導する必要がある。
知名町	知名町担い手育成総合支援協議会	4	パレイシヨ	販売額の10%以上の増加	262,428円/10a (H27)	302,000円/10a	140,129円/10a	-309.1%	達成状況が-309.1%と低調であること、改善策については土壌改良や病害対策を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、知名町担い手育成総合支援協議会を指導する必要がある。

(注)1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。